

新潟支部会報



一般社団法人 大学女性協会新潟支部

2019年10月 No. 1



支部長交代のご報告

今年度の役員改選に伴い、支部長が交代いたしました。高橋令子前支部長にかわり、田代信子さんと登坂美江子さんが共同支部長となりました。本部との連絡は、主に田代支部長が務めます。よろしくをお願いいたします。

<新任のご挨拶>

田代 信子

今年度より登坂美江子さんと共同で支部長をお受けいたしました。伝統ある当会の長をお引き受けし、身が引き締まる思いです。力不足ですが、勉強の機会を与えられたと思い、副支部長をはじめ、役員の皆様と協力して一生懸命務めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

<新任のご挨拶>

登坂美江子

去る4月27日の2019年度支部総会で共同代表として承認され、田代信子さんと二人体制で歩むことになりました。長い歴史のある新潟支部にはたくさんの素晴らしい方々がいらっしゃいますが、会員の減少と高齢化の中で微力ながらお役に立つのであればとお引き受けいたしました。月日の経つのは早いもので、既に募集も始まっている支部の奨学賞という大切な事業はもちろんですが、少しでも魅力のある活動ができますよう、役員の方たちと協力して歩んでいきたいと思っております。

募集

この会報の名称を募集します。各支部で作成している会報は、それぞれの地方の特徴を生かした愛称をつけているようです。例えば、東京支部は「灯」、宮城支部は「けやき」などです。ご意見を集約し、12月7日開催予定の奨学賞祝賀会の席で決定いたします。高橋まで

目次	頁	頁
・支部長交代のご報告	1	・9月例会、国際交流部会学習会
・2019年度支部総会報告	2	「フェアトレードで叶うこと」
・2019年度全国総会報告	3	・理事会、評議員会参加報告
・7月例会、男女共同参画部会学習会	4	・掲示板（今後の予定、諸連絡等）
「紫式部が求めた女性の生き方」		

2019年度 新潟支部総会報告

- 1、 日 時： 2019年4月27日(土) 14:00~17:00
- 2、 場 所： クロスパルにいがた 405号室
- 3、 総会成立の確認： 会員数31名 出席者数 13名 委任状 10名 計 23名
- 4、 議長選出：仲川幸子会員
- 5、 議事 各議案は、以下の訂正箇所確認後に承認された。

(1) 2018年度事業報告：配布・郵送資料参照 下記訂正箇所あり

- ・5月31日(木) 例会参加人数 誤：10名参加 正：9名
- ・6月23日(土) 例会参加人数 誤：8名参加 正：6名
- ・12月8日(土) 追記：新潟支部奨学賞贈呈式参加者15名
- ・新潟支部70周年記念誌作成「委員会」 訂正：「会議」
誤：「その他の活動」 訂正：「役員会・運営会議・各種会議」の項目に入れる。

(2) 2018年度収支決算報告：配布・郵送資料参照 下記訂正箇所あり

- ・事業6 会員活動について
誤：「その他収益」奨学賞2,000 訂正：奨学賞 空欄
誤：「その他収益」その他月例会・会員活動6,900 訂正：8,900
誤：「当期経常増減額」奨学賞915 訂正：1,085
誤：「当期経常増減額」その他月例会・会員活動12,295 訂正：14,295
- ・一般正味財産期首残高 誤：430,351 訂正：438,873
- ・一般正味財産期末残高 誤：433,451 訂正：440,973

(3) 監査報告

確認：「奨学賞を贈る会」は、支部長が会長を兼務する。
基金運用報告のサインは「会長」とする。

(4) 2019年度事業計画：配布・郵送資料参照

(5) 2019年度一般会計予算：配布・郵送資料参照

(6) 規約の一部改正について

- ・支部長に関して共同代表を可能とし、1~2名とする。
- ・書記の仕事内容について規約変更 否認(具体的な記述はしない)

●2019年度役員、監査改選

支部長	田代信子	登坂美江子	
副支部長	大淵智絵	吉谷美知子	
会計	仲川幸子	阿部美知子	
書記	高橋令子	鈴木裕美	監査 長谷川かよ子 長谷川道子



(7) その他

1 基金からの支出項目について

春の全国総会に支部長、会員を派遣するにあたり、「派遣費」として基金をあてることについては、ほぼ全員賛成。

2 支給金額について：全国支部長会出席者(支部長又は代理出席者)に3万円、他会員には5千円ずつとする。全国セミナーは一人あたり5千円とする。

<諸連絡・協議事項>

各部会長、副部会長については、協議時間がなくなり十分に話し合えなかったため、後日各部会で再度検討する。
(記録 高橋令子)

全国総会参加報告

2019年度全国総会は、5月21日～23日京都市で開催されました。以下、参加者の報告です。

<支部長会、懇親会> 5月21日(水)14時～17時 於：ホテル日航プリンセス京都

全国から20支部の支部長が集まり、はじめに鷺見八重子会長より、昨年度は50名の新入会員があり、全体で30名の会員増加につながったこと、休会を考慮していた2つの支部が、本部役員の訪問により継続を決めたことが報告された。その後、京都支部の事前アンケートの回答をもとに、現在の支部運営の状況や課題克服のために行った活動、問題点が報告され意見交換が活発に行われた。

夜の懇親会では、鷺見会長、京都支部長、京都副市長のご挨拶の後、森悠子さんのパリ生活のお話と魂に響く情感溢れるバイオリン演奏が披露されました。

<第8回定時会員総会> 5月22日(木)9時30分～12時 於：ホテル日航プリンセス京都

全国から95名の会員が出席して1号、2号議案、2018年度事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、2019年度事業計画と予算について報告がなされ、承認された。10月のセミナーのテーマは「教育・ジェンダー・共生—あらゆるハラスメントを乗り越えるために」であり、基調講演は上野千鶴子さんに決まったことが加納副会長より説明された。鷺見会長より、70周年記念募金のお礼と引き続きの協力依頼があった。来年は2020年5月23日、24日に名古屋で開催予定。

(田代信子)

<公開講演会> 同日13:30～14:30 同会場

大蔵流狂言師・茂山千三郎さんによる講演会「日本人の笑い」が開催された。能や狂言は写実表現でなく、様式的な演技を「型」で演じるもの。笑いにも型があると、扇をもって所作を見せてくださった。狂言に登場する女性の8割が「わわしい女(元気で物騒がしい)」で、それに従う男性という筋書で笑いを誘うとのことだった。それが「笑い」に繋がるのは、一般の社会通念に反しているからではないか、と古来日本社会のジェンダー意識も感じた。伝統文化の神髄にふれた貴重なお話だった。

<意見交換「支部活動について考える」> 同日 14:40～16:30 同会場

事前に京都支部で実施された支部活動に関するアンケート結果を参考にしながら、三支部長(札幌、仙台、福岡)をパネリストにしたディスカッションだった。全国的に高齢化と会員減少が最大の課題。70代以上会員は平均62%、実働会員は42%の現状。札幌支部では、賛助会員制度も取り入れて入会の敷居を低くしている。福岡支部は、全国セミナーへの参加に経費がかかるため参加者が少ない、などの問題がある。会員の獲得、現会員の維持についてはこれからも模索が続いていくと感じた。各支部の実例は本部会報267号参照。

(高橋令子)

<研修旅行> 5月23日(金)9:00～17:00 龍安寺、迎賓館、無鄰菴

古都京都を訪ね、日本古来の伝統に触れられることに期待して49名の参加者とバスに乗った。龍安寺は、枯山水の石庭に代表されるが、大きな鏡容池には水連が見事に咲いていた。ブライトンホテルでランチをいただいた後、京都迎賓館へむかった。京都御苑内にある迎賓館は、部屋毎に日本の伝統技能を尽くした家具や調度品が飾られ、国公賓接客の場として細かな配慮が行き届いていた。無鄰菴は、かつては山形有朋の別荘、今は国指定の名勝庭園である。東山を借景とした庭には庭園現地実習の学生達が学習していて、将来に向けての展望が約束されている気がした。企画と実働に携わられた京都支部の皆様へ感謝と御礼を申し上げます。

(長谷川道子)



7月例会 2019年7月27日(土) 13:30~14:00 アルザにいがた 302にて

- ・所属部会の確認と各部会の今後の予定など話し合った。
所属が不明の会員には問い合わせ、確認することになった。
- ・10月親睦会と全国セミナーのお知らせ (p. 6 参照)
- ・本部依頼の全国調査についての相談と打ち合わせ (終了後継続)

**7月学習会報告** 男女共同参画部会 7月27日(土) 14:00~16:00 アルザにいがた 302

参加者：会員9名、一般：19名で満席

「紫式部が求めた女性としての生き方」～「源氏物語」における「玉鬘」を中心として～

講師 元高校国語教師 「源氏物語を読む会」主宰 山田さよ子さん

<歴史的背景>

紫式部は20代後半結婚したが夫と死別、子育てしながら物語を書き始め、それが藤原道長の目にとまり、娘、彰子(一条天皇の中宮)の教育係となり、道長の支援の下「源氏物語」を書いた。

<玉鬘>

源氏物語に出てくる他の女性達とは少し違った自我をもった女性であり、1890年「人形の家」(イプセン作)を彷彿とさせる。頭中将(源氏の友人、2~3才年上)と夕顔との娘、「中の品」育ちであるが、頭中将の北の方(正妻)の迫害を恐れて太宰府に下った。備後の豪族に言い寄られ、京に戻り、源氏の娘(養女)として六条院に住んだ。(夕顔は源氏の元恋人だった。)

<六条院>

六条院は源氏が支配する空間、女性達は源氏の為に美しく着飾り、源氏の好みに染められ、読む物語も選択された。玉鬘は、源氏の養女としてどんな物語を読む事も許され、「住吉物語」(継母のいじめに耐えて幸福をつかむ話)の影響を受け、自分の人生の意味を見つめるようになった。源氏(玉鬘より約12才年上、いにしへの故ある人:保守的)は玉鬘(いまめかしの人:革新的)に若者達をあてがい、恋の演技を楽しみながら玉鬘に恋情を抱き、玉鬘もそれに気付く。六条院は変容していった。

<鏡>

鏡は人の魂を宿すとされ、自己をみつめ、自分の過去・現在・未来を見るとされた。玉鬘は鏡で源氏の為に化粧し、源氏も鏡のなかの自分を見て、夕霧(自分の息子)にも負けないイイ男を認識する。一方で正妻紫の上(いにしへの故ある人)は、日影(水に映った月)しか見ず、自分を見ない。

六条院において特別待遇だった玉鬘は、物語を熱心に読む事によって、自己の半生の有り様を認識するようになり、自己を相対化した。

<玉鬘の結婚とその後>

玉鬘(24才)は実父の命により(女の三従の教え)、髭黒大将と結婚したが死別、息子3人と姫君2人の子育てをするが、自分の形しろとして子ども達の意見を無視し、長女を冷泉院(上皇;玉鬘に求婚していた)と結婚させ、息子達の出世の道を閉ざしてしまう。退位した院と姻戚関係を結んでも出世には反映されない。次女を帝(天皇)に尚侍として出仕させるが、帝は不興のまま、長女も冷泉院の息子を生むと居づらくなって戻ってきてしまった。おちぶれていく玉鬘、社会の掟との狭間にあって、自分の意志を選択するも、現実の社会に押しつぶされていく。

<紫式部が言いたかったこと>

源氏物語が書かれた当時、政治は理念や政策ではなく、自分の出世を願う人々による「政事」であり、多くの人々が振り回され傷ついた。そんな時代にあって、男性貴族に依存寄生する女性達が、自分のあり様を描く事で、在来の規範を乗り越え、新しい生き方を模索しようとしたのであろう。

(記録 吉谷美知子)

9月例会 2019年9月28日(土) 13:30~17:00 クロスパルにいがた 405号室にて

・新潟県立大学 10周年募金について、県立大学後援会での説明内容の確認。今後の役員会にて対応を検討し、来年度支部総会にて決定する。

9月学習会報告 国際交流部会 9月28日(土) 14:00~16:00 クロスパルにいがた 405

「フェアトレードで叶うこと~NVCのフェアトレード活動から」 参加者 6名

お話：新潟国際ボランティアセンター (NVC) 代表 三上杏里会員

- ① フェアトレード天然石を使用した創作ワークショップ
- ② お話 ベトナムのお茶とお菓子をいただきながら懇談会形式で

学習会の最初にベトナムの孤児院にて加工された天然石(桂化石、水晶など)を使用してアクセサリー作りを。採掘の段階から児童労働が行われていないかなどチェックしているほか、事業として成功させるために製品により魅力を持たせる工夫も。フェアトレードにより私たちは「エシカル(倫理的な)」消費を行い、未来を自分で選ぶことにつながる。また現在、現地で作業を手伝う子供たちは報酬として小遣いを受け取り、はじめて好きな飴を買うことができたなど喜びを得ている。

ワークショップ後、スタディツアーを終えたばかりの三上さんより最新の現地報告。現地では経済の状況に伴い豊かな生活を送る人、外国人、洗練された施設が増えている。一方で貧困の人々がまだまだ多く、そのような人達が生活を向上させる手段は大学で学び卒業すること。NVCのベトナム奨学支援は相手の顔が見えるしくみが好評。企業からの支援参加では、ベトナムの事業進出にあたり優秀な学生の確保にも期待されている。(記録 大淵智絵)



7月例会で講演する山田さん



9月例会の様子

理事会、評議員会、団体交流会出席報告

<県立大学後援会総会> 5月28日(火) 10時~11時30分 万代シルバーホテル 5F

若杉学長より、来年度に国際経済学部を新設し、地域に密着しながら世界で活躍できる人材育成をめざす大学にしたいというお話があった。その後、曾根英行教授の「雪を活用した「食」の高付加価値化雪中貯蔵効果の科学的検証」講演をお聞きした。(田代信子)

<新潟県女性財団評議員会> 6月10日(月) 13:00~15:00 新潟県女性財団研修室

6月17日、20日~23日開催の「女と男フェスティバル」への協力要請があった。(高橋令子)

<新潟市男女共同参画推進センター(アルザ)登録団体交流会>

7月28日(日) 10:00~12:00 アルザ 403・404 23団体参加

団体活動事例発表が、「NPO法人 子ども・人権ネット CAPにいがた」から。ホワイトボード・ミーティングの手法で「男女共同参画について考える」グループワークをした。(高橋令子)

掲 示 板

.....今後の予定 諸連絡.....

■10月親睦会のご案内

10月17日(木) 10:00より メディアシップ5階の會津八一記念館の特別展「陶芸家 富本憲吉と會津八一～孤高の美の求道者たち～」を鑑賞します。解説は学芸員、湯淺健次郎氏です。

その後、19階の日本料理「松扇」で湯淺氏を囲んで昼食会を計画しています。芸術の秋・実りの秋をご一緒に楽しみませんか？ 参加費 4,000円。

◆全国セミナーの予定（詳細は JAUW 会報 No.267 参照）

テーマ「教育・ジェンダー・共生～あらゆるハラスメントを乗り越えるために～」

10月19日(土)～20日(日) 埼玉県嵐山町の国立女性教育会館にて

■12月新潟支部奨学賞授賞式・祝賀会のご案内

12月7日(土)、ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催。

新潟支部は創設以来、最も大切な事業として学業・人物ともに優れた女子学生に奨学賞を贈ってきました。今年は70回目を迎え、受賞者の前途をできるだけ多くの会員で祝福したく、皆様のご出席をお待ちしています。詳細は後日あらためてお知らせ致します。

■2月例会、社会学習部会学習会の予定

2020年2月22日(土) クロスパルにいがた405にて

改元にちなみ万葉集と古筆による万葉仮名を学びます(題未定)。講師は小川和恵さん(書道家、歌人)。新潟高校講師、新潟大学教育学部講師を経て、現在はかな書道による創作活動中。第74回県展県文化振興財団賞受賞。

<ようこそ！新入会員>

4月より小野美知子様が入会されました。
山田さよ子様、打越さく良様が入会することになりました。



<ミニバザーの収益について>

4月27日(土) 実施分 11,750円

収益金は、会の活動資金として役立てたいと思います。ご協力ありがとうございました。

<会費納入のお願い！>

この活動は皆様の会費で支えられています。未納の方は、下記銀行口座にお振り込みをお願いします。

ゆうちょ銀行 大学女性協会新潟支部 00640-8-4146



編集後記 *.....*.....*.....*.....*.....*

「会報」という形式で活動報告をまとめることになりました。ご意見やお知らせ等お寄せください。読みやすい紙面にしたいと思います。次回発行は3月の予定です。(高橋)

発行元
(一社) 大学女性協会新潟支部
支部長 田代信子